

むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長 山本 知也 殿

隊員氏名 山田 菜生子

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2023年5月分】

1. 実施した活動の概要・状況

5月は下記の活動に加え、脇野沢地区の「夢の平成号」イルカウォッチングツアーも始まり、小池隊員による事業で講師にイルカ博士の清川教授をお招きした「親子でイルカウォッチング」イベントなど、陸奥湾カマイルカに関連した事業を多く実施、参加した。また、26日には脇野沢地区に死んで漂着していたカマイルカの骨格標本の展示を開始した。

〈主な活動〉

○5月7日（日）牛の首農村公園海岸清掃

脇野沢ボランティアの会主催「牛の首清掃活動」が行われ、下北ジオパーク関係者をはじめ、青森大学むつキャンパスや川内中学校の学生、大湊地方隊の方々など約200名にも及ぶ参加者と共に下北ジオサイトの一つ「鯛島」に見守られながらゴミ拾いを行った。漂着物の中には他県から流れ着いた車線分離標（道路脇のポール）なども見られ、海流の影響で海ゴミが流れつきやすいことがうかがえた。

牛の首公園からは鯛島全体をしっかりと見ることができることもあり、イベント等で利用することも多いため、今後も継続してこまめにゴミ拾い等の保全活動を行っていければと思う。



○5月9日（火）、10日（水）脇野沢小学校ミョウガづくり手伝い

むつ市立脇野沢小学校で毎年実施している脇野沢名物「ミョウガ」づくりにお手伝いとして参加させていただいた。1日目は雑草取り、2日目は雑草取りと肥料まきを行い、土から小さく顔を出しているミョウガを傷つけないよう、慎重に作業を進めた。私は川内地区担当の協力隊ということもあり、脇野沢地区の子どもたちと交流する機会があまりなかったため、ミョウガやドルフィンクラブについてなど子どもたちから直接話を聞くことができ、子どもたちから見た脇野沢地区をより深く知ることが出来た。



○5月26日（金）陸奥湾カマイルカ骨格標本が完成

昨年5月、むつ市脇野沢地区の浜に死んで漂着していたカマイルカの個体を約1年かけて解体・除肉・組み立てをし、ついに骨格標本が完成した。

現在、骨格標本は「むつ市海と森ふれあい体験館」の展示ホールに展示している。カマイルカを象徴するカマ（背びれ）の部分に骨が無いことや、骨盤の名残が骨として残っていることなど、骨格標本から発見すること・学べることは多い。地域住民の方々をはじめ来館された方に近くから観察して頂き、様々な角度からカマイルカの生態を学んでいただけたらと思う。



2. 翌月の活動予定

6月は以下の活動に加えて夢の平成号イルカウォッチングツアーのガイドも行う。

6月2～3日 東日本大震災被災地見学

6月6日 脇野沢カマイルカ調査

6月18日 ガサガサイベント

6月25日 むつ川内ホタテフェスティバル